



農大だより

URL <https://www.pref.kagawa.lg.jp/nodai/>

第28号 香川県立農業大学校

〒766-0004

仲多度郡琴平町榎井 34-3

TEL 0877-75-1141 FAX 0877-75-3989

E-mail : nodai@pref.kagawa.lg.jp

- 校長あいさつ
- 県内現地研修
- 卒論発表会
- 同窓会だより
- 活躍する卒業生
- 技術研修科トピックス
- 頑張る修了生
- 学生募集
- 教職員名簿



4月12日 入学式

二年ぶりの入学式

校長 仲本 孝幸

新型コロナウイルス対策の臨時一斉休講によって昨年度は実施できなかった入学式を今年度は四月一二日に開催することができました。

来賓の方々には御案内を控えさせていただきます、農大側の職員も全員参加ということはかないませんでした。担い手養成科四〇名、技術研修科九名のフレッシュな学生と頼もしい研修生を迎え、農業大学校に春の賑わいが戻ってきました。

さて、里山ではよく見かける「竹」には「節」があるから縦にも横にも強いのだそうです。我々の生活なども同じで「節目」があることにより、強い人間になることができます。という話を聞きました。

農業大学校も社会の情勢や荒波に負けない「節」のある強い人材育成に努めてまいります。今年度も御指導、御鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

県内現地研修



農業生産現場の現状や先進的な取り組みに触れ、香川県農業の持つ可能性の広さについて理解を深めようと、一年生を対象に県内現地研修を行いました。

株式会社蒼のダイヤの細川社長から、法人設立の経緯や経営概要、今後の展望についてお聞きしました。その後、多度津町見立の加工場と、瀬戸内海を見渡せる素晴らしい景観のオリーブ栽培圃場を見学させていただきました。オリーブ栽培とそれを通じて地

域振興を図ろうとする熱い思いを感じる事ができました。その他、落成したばかりの府中果樹研究所では香川県の果樹栽培をけん引する果樹研究の最前線に、また、高松盆栽の郷では苔玉づくりワークショップで盆栽の魅力に触れることができました。

卒論発表会

令和三年一月一五日に校内卒業論文発表会を行いました。二年生は、専攻実習を通して自ら課題を設定し、課題解決のために調査研究した結果を取りまとめ発表に臨みました。限られた持ち時間の中で、研究成果や問題点、生産現場での実用性などを整理して伝えようとする苦心の跡がみられました。一年生も発表の進行役として活躍し、来年度に向けて発表の場を経験しました。

生徒も含めた出席者による採点の結果、優秀者は次の六名となりました。

果樹園芸 石川 さつき
畜産 杉山 龍優

花き園芸 三浦 綺華
野菜園芸 山地 亮馬
造園緑化 平尾 知樹
果樹園芸 高尾 耕大



卒論発表会

同窓会だより

大西 健太さん
(観音寺・三豊支部)



私は、実家がキクを栽培しており、また、祖父が香川農

大の卒業生であったことが縁で、「花きコース」に入学しました。

農大での実習では、一年生の時に綾川町のキク栽培農家へ行き、自分の家とは違う栽培技術を目の当たりにして、キク栽培の奥深さを知ることができた上に、一年に一度開催されるフラワーフェスティバルに初めて参加することができました。この会場では、人当たりの良さそうな方々に対して、叩き売りのような調子で対応したのがうけて、たくさん花を販売したのに、なぜか先生に叱られたことも、今ではいい思い出となっています。

二年生の時には、九州の農業大学校への視察旅行があり、現地の農大生と交流を深めることができました。卒論に関する専攻実習では、また別のキク栽培農家に伺い、週の半分をキク栽培に打ち込むことができました。楽しい出来事が多くありましたが、時には意見が合わず衝突することもありました。でも、その時の経験が今の自分の血となり肉

活躍する卒業生

山種易(やまたねえき)産業株式会社
代表取締役 倉山 建造さん
(高松市牟礼町)



となつていいることも確かです。ほかに、高松の花屋さんからフラワーアレンジの授業に来ていただいていたことはよく覚えています。様々なリボンの結び方や包装の仕方も学び、花だけではなく「花束」としての作りを知ることができたのは、やはりこの農大に来たからこそだと思っています。

私は昭和六三年度に農業大
学校の畜産コースに入学しま
した。二年生の専攻実習では
畜産試験場酪農肉牛担当にお
世話になり、当時はまだ若か
った研究員と管理員の皆さん
から優しくも厳しい指導を受
けながら、本当に先輩と後輩
のような間柄となり、今でも
楽しかった思い出を忘れるこ
とはできません。

その後は、一年ほど兵庫県
の著名な肉牛農家に出向き、
本格的に実践的な和牛の繁殖
から肥育までの飼養技術を学
んで就農しました。昔から父
親が種雄牛を飼育していたこ
ともあり、優秀な資質の子牛
生産と育成に始まり、肥育販
売までを手掛ける一貫経営を
目指して、これまで日々努力
を重ねてきました。

そして、平成二五年七月に
「山種易（やまたねえき）産
業株式会社」を設立し、現在
では、和牛繁殖母体二六〇頭
と交雑種繁殖母体一二〇頭、
肉用素牛四〇〇頭を飼育して
います。近年は規模拡大を図
るため、受精卵移植技術への
取り組みに加え、大学生の職

場体験や海外技能実習生の受
入れにも貢献しています。

香川県のオリーブ牛生産に
おいても、子牛誕生から肥育
牛出荷までに、肉牛たちの一
生を見届けることが私の責任
だと思いい、これからも皆様
おいしい牛肉を安定的に提供
できるよう、スタッフ一同全
力で頑張つてまいります。

技術研修科トピックス

待望の アスパラガスハウスの建設



この度、アスパラガスのハ
ウスが新設されました。

近年、県内のアスパラガス
栽培面積が増加する中、研修
科の研修生の中にもアスパラ
ガス栽培の実習を希望する声
が多くなってきたこともあり、
待望のアスパラガスハウスの
建設となりました。

このハウスは、令和二年八
月に農業大学校で行われた、
農業生産流通課主催の「農業
用ハウス自力施行研修」の受
講生の手で建設されたもので、
その後、研修科の農作業実習
の中で土入れや畝立てを行い、
今春のアスパラガスの定植に
至ったものです。品種は、県
育成品種の「さぬきのめざめ」
を定植しています。

土入れ作業など重労働が多
く、完成までは大変な道のり
でしたが、実践的なアスパラ
ガス栽培の実習ができること研
修生の期待を集めています。

大型トラクター二台の導入

農業大学校では、農耕車限
定の大型特殊免許等の技能講
習を実施しています。法規制
の緩和により受講申し込みが

激増し、昨年度から開催回数、
受入人数を増やして対応して
います。

今年度から、補助事業を活
用し、導入後年数を経過して
いたトラクターを更新して二
台新たに導入することができ
ました。

導入した機種は、現場で導
入が進んでいるAT（ノーク
ラッチ）仕様で、天候に影響
されないキャンビン車としたこ
とで、受講者からの評判も
上々です。今後も、導入した
トラクターを有効に活用して、
農業者からのニーズに応えら
れる研修を進めていきます。



新たに導入したトラクターでの大特教習

頑張る修了生

三木 紳太郎さん（丸亀市）



私は平成三〇年度就農実践
研修野菜コースで一年間研修
させていただきました。

実家は農家ではなく、全く
の素人で入学し、畝の作り方
もわからない私に丁寧に指導
していただき、農業の基礎を
学ばせていただきました。

令和元年に就農し、出荷先
としては、実践研修の農家研
修でお世話になった「讃岐富
士農産」の高橋光男氏を通じ
て様々な市場や食品加工業者
に出荷しています。

その中で出会った農家の

方々と共同作業や情報交換を
行いながら、夏場はナス、冬
場は加工用ほうれん草をメイ
ンに、ニンジンやサツマイモ
などの根菜類にも挑戦しなが
ら農業経営を行っています。
就農実践研修から繋がった
方々に助けていただきながら
ここまでやってこられました。
これから目標としまして
は、農産物への探求心を忘れ
ず、栽培技術の向上をはかり
ながら、農業を通じて繋がっ
た出会いを大切にし、日々精
進していきたいです。

学生募集

オープンキャンパス

開催日は、八月一日（日）、
八月二九日（日）の二日間で、
のべ四回開催します。

時間はいずれも午前の部九
時三〇分〜一時三〇分と、
午後の部一三時三〇〜一五時
三〇分です。

学校説明、学校施設案内、
個別相談を含めたわかりやす
い内容となっています。

来校者には、農業大学校で
生産された季節の花きや果実

などを進呈します。開催日の
二日前までに本校の教務課に
電話で申し込んでください。

入学試験

推薦入学試験

・ 願書受付期間

九月一六日〜九月二九日

・ 試験日 一〇月七日

一般（前期）入学試験

・ 願書受付期間

一月三〇日〜二月一三日

・ 試験日 令和四年一月六日

一般（後期）入学試験

・ 願書受付期間

令和四年二月一日〜二月七日

・ 試験日 二月一五日

※詳細は本校教務課まで。

農業大学校教職員名簿

校長 仲本孝幸

副校長 森末民子

総務研修課長 穴澤孝雄

（庶務・経理担当）

副主幹 三原真由美

主任 内藤哲士

主任 前田幸男

主任主事 宮下千晶

（研修担当）

教授 川上 清

教授 黒川領太

教授 宮武浩一

准教授 中尾俊彦

准教授 山田浩三

教務課長（兼）森末民子

（学務・農場担当）

教授 谷澤敬久

准教授 神余暢一

農場管理員 内野々一枝

松木店一郎

石井隆明

（野菜園芸コース）

教授 渡辺二郎

技師 津田遼平

教授 久保昌弘

教育助手 恵比須天音

（花き園芸コース）

教授 大原一能

教授 今出来光志

教育助手 上原光月

（果樹園芸コース）

教授 氏家英樹

准教授 大谷 衛

教育助手 高尾耕大

（造園緑化コース）

教授 大原一能

教授 糸瀬俊幸

教育助手 野崎将希

（畜産コース）

教授 齊藤武司